

平成 24 年度

病虫害発生予察特殊報 第 2 号

平成 24 年 9 月 6 日
茨城県病虫害防除所
TEL : 029-227-2445

チャトゲコナジラミの発生について

害虫名：チャトゲコナジラミ
学名：*Aleurocanthus camelliae* Kanmiya & Kasai
発生作物：チャ

1. 発生確認の経過及び県外での発生状況

- (1) 平成 24 年 7 月下旬、県西地域のチャ栽培園において、コナジラミ類成虫（写真 1）及び葉裏にコナジラミ類幼虫（写真 2, 3）が確認され、多発している圃場では下位葉にすす症状（写真 4）も認められた。成虫及び幼虫を採集し、農林水産省横浜植物防疫所に同定を依頼した結果、本県では未発生のチャトゲコナジラミと判明した。
- (2) 本種は、当初ミカントゲコナジラミのチャ系統として発生及び被害が報告されてきたが、平成 23 年 3 月に新種のチャトゲコナジラミとして命名された。チャトゲコナジラミは、平成 16 年に京都府のチャで初確認されて以来、埼玉県、東京都、群馬県、神奈川県など 22 都府県ですでに発生が確認されている。

2. 形態の特徴

- (1) 成虫の体長は、雌が約 1.3mm、雄が約 1mm である。前翅は紫褐色で不整形の白斑があり、虫体は橙黄色であるが白粉で覆われているため灰色に見える。
- (2) 孵化幼虫は淡黄色で、2~4 齢幼虫は光沢のある黒色で周囲に白色ロウ物質があり、周囲と背面に多数の刺毛を有する。4 齢幼虫の体長は、約 1mm である。
- (3) 卵は淡黄色で、長さ約 0.2mm の勾玉状である。

3. 生態の特徴

- (1) 日本のチャ園ではおおむね年 3~4 世代を経過する。ふ化後、1 齢~4 齢幼虫を経て成虫となり、越冬は幼虫態（3・4 齢）で行われる。卵や若齢幼虫は、寒さのため越冬できないとされる。翌春における成虫の発生は、一番茶新芽生育期とほぼ一致する。
- (2) 幼虫は、下位葉の葉裏に寄生する。ふ化直後は歩行移動するが、定着後は移動しない。4 齢を経たあとに成虫となる。
- (3) 成虫は、新芽に群生する。チャ株を揺らすと飛び立ち、摘採面上やうね間を飛び回る。成虫の寿命は約 2~4 日間であるが、羽化後すぐに交尾し、葉裏に産卵する。
- (4) チャの他、サザンカ、ヒサカキ、サカキ、シキミ等にも寄生する。

4. 被害の特徴

成虫は、新芽に群生して吸汁する。また、幼虫は、下位葉の葉裏に生息して吸汁加害し、幼虫が排泄する甘露によりすす症状を生じる。初発生確認後、圃場での発生が急激に拡大するので注意が必要である。

5. 防除対策

- (1) 成虫は新芽に、幼虫は下位葉に集まるので、定期的に観察して早期発見に努める。

- (2) 防除適期は、若齢幼虫発生期である。多量に発生していた成虫の発生が少なくなる頃が、次世代の若齢幼虫発生期になる。成虫や幼虫の発生状況をよく観察し、適期防除を行うようにする（黄色粘着トラップを設置し、成虫モニタリングを行う）。
- (3) 幼虫は、下位葉の裏側に寄生しているので、薬剤がかかりやすくなるよう散布前にすそ刈り等を行う。薬剤散布の際は、すそ部からチャ株頂上部へ向けて、斜め上方に薬液を散布すると防除効果が向上する。
- (4) 深刈り剪定等により枝葉を除去することで、生息密度低下や防除効果の向上を図ることができる。なお、剪定した枝葉は発生源となることがあるため、土中に埋設するなど適切に処分する。
- (5) 秋冬期は、9月下旬～10月に化学農薬で越冬量を減らした上で、翌年の1月と2月頃に老齢幼虫に有効なマシン油乳剤による防除を行う。
- (6) 苗の導入時には防除を徹底する。

表 チャトゲコナジラミに登録がある農薬（平成24年8月8日現在）

薬剤名	希釈倍数 (倍)	使用時期	本剤の使用 回数(回)
コテツフロアブル	2,000	摘採7日前まで	2
コルト顆粒水和剤	3,000	摘採7日前まで	2
ダニゲッターフロアブル	2,000	摘採7日前まで	1
ダントツ水溶剤	2,000	摘採7日前まで	1
ディアナSC	2,500～5,000	摘採7日前まで	1
アプロード水和剤	1,000	摘採14日前まで	2
ハチハチ乳剤	1,000	摘採14日前まで	1
ハチハチフロアブル	1,000	摘採14日前まで	1
アプロードエースフロアブル	1,000	摘採21日前まで	1
ランネート45DF	1,000	摘採21日前まで	2
トモノールS	100～150	5月～9月	—
	50～100	10月～3月	—
ラビサンスプレー	100～150	5月～9月	—
	75	10月～3月	—

※農薬を使用する際は、農薬ラベルに記載の使用方法、注意事項等を必ず確認のうえ使用してください。

6. 参考資料

防除方法についての詳細は、以下のHPを参照のこと。「チャの新害虫チャトゲコナジラミの防除マニュアル」シリーズ 編集：ミカントゲコナジラミ（チャトゲコナジラミ）研究推進連絡会

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryou2/index.html>



写真1 成虫



写真2 葉裏に寄生する幼虫



写真3 下位葉に発生したすす症状